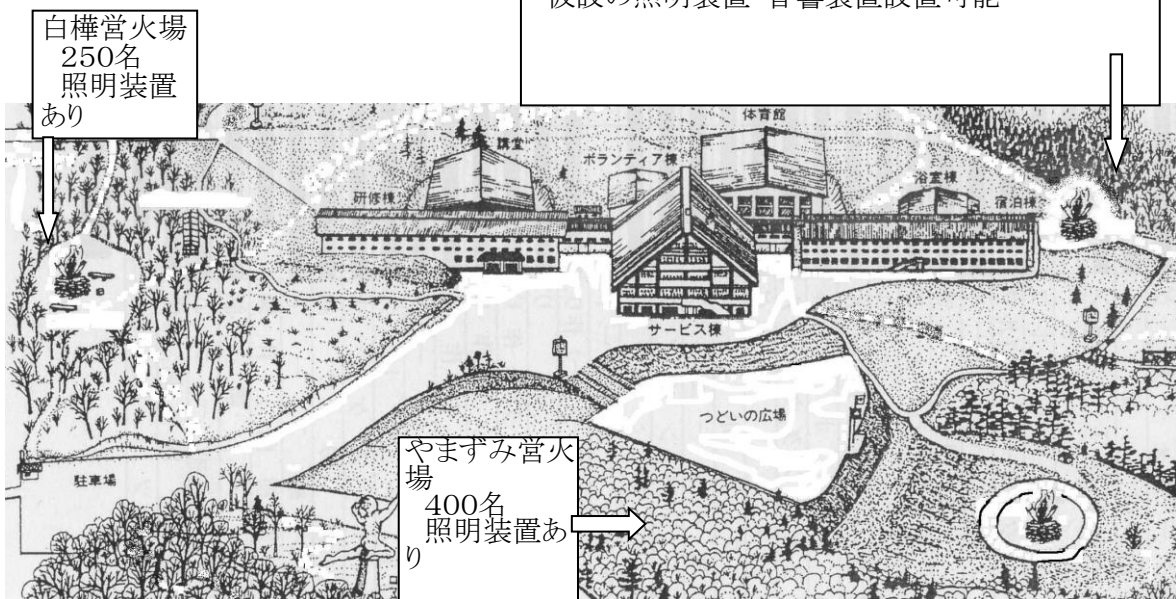


キャンプファイヤー

1. 実施場所



2. 実施可能期間

5月中旬～10月下旬 (5月・10月についてはご相談ください。)



音響設備

3. 貸し出し物品

照明装置・音響装置など。衣装はありません。

4. 持参準備物

懐中電灯, ライター (点火物), 軍手, トーチ用針金・布

5. 当日の準備から片付けまでの手順

(1) 井桁組み

- 16:00 玄関前に集合 (担当教諭と生徒6名以上)、軍手準備
集合できたら事務室まで連絡して下さい。係が営火場に同行し
井桁の設置・照明・音響・消火などについて説明します。



ファイヤー材料

セット内容

丸太10本, 薪4束, 灯油5リットル 1セット 9,000円

③ 追加材料

丸太1本: 600円, 薪1束: 600円, 灯油1リットル: 220円

トーチ棒1本 240円

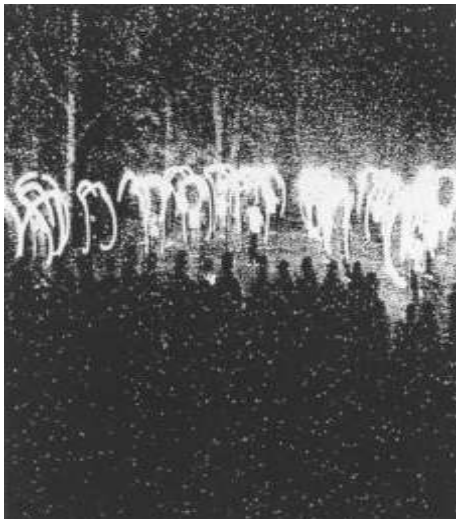
※針金, 布は各自で準備願います。

※3日前までに下記へお申し込み下さい。

乗鞍青少年交流の家食堂
コンパスグループ・ジャパン (株) 乗鞍店
電話 0577-31-1007
FAX 0577-31-1128



キャンプベース



キャンプファイヤーの様子

(2) 消火

- ① ファイヤー終了後, ファイヤーベース (蓋) をかぶせ消火する。
- ② 事務室に報告する。
- ③ 翌朝の清掃後, 後片付けをする。

《キャンプファイヤーの進め方》

◎現場説明を行いますので、当日午後4時まで事務室へお越しください。(マイク、器具説明)

◎丸太・薪等の確認を、当日の事前に喫茶店にてして下さい。

1. 井桁の組み方(参考例)

井桁の組み方には様々な方法があります。団体の規模やイベントにより自分たちで工夫することも楽しみの一つだと思います。

ここでは、乗鞍青少年交流の家で行っているごく一般的な方法を紹介します。

※丸太は下の段から太い順に積んでください。(図1)

※丸太を積む場合は、下の段から少しずつ内側に寄せるつもりで積んで下さい。(図1)

(1) 井桁(丸太)を2段程度積む。

(2) 丸太が崩れないように小石(クサビに近い形が望ましい)で両側を支える。(図2)もしくは、針金等で縛りますが、普通は小石で支えるだけでも十分と思われます。

(※注意)

点火中に崩れる心配がありますので、固定は必ず行って下さい。

(3) 薪で井桁の中を作ります。

①真ん中に薪を組みます。

②強く丸めた新聞紙を敷き詰めます。

③丸太の周りに薪を立てます。(図3)

④放射状に薪を渡します。(図4)

(4) 井桁(丸太)を(2)と同様に組み上げます。

(5) 天候が心配な場合は、ファイヤー開始直前までシートをかけておきます。

(6) 開始直前に薪の部分に灯油をかけます。丸太にはできるだけかけないようにしましょう。

(7) 必ず複数のバケツに火守り用の水を入れて、近くに置いておきましょう。また、1つのバケツには灯油を入れて、トーチ棒を濡らす等に使用して構いません。

これで準備は完了しました。火には十分注意して楽しいひとときをお過ごしください。

2. 消火方法

乗鞍青少年交流の家では水を使った消火はしません。ただし、当面からまつ営火場は水による消火になります。

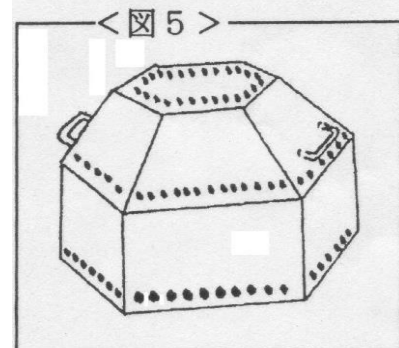
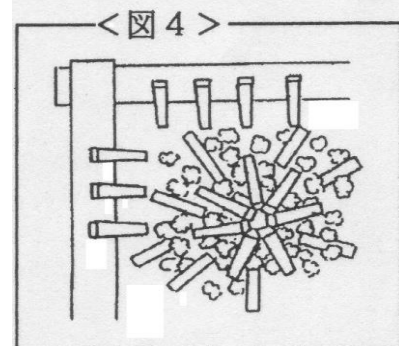
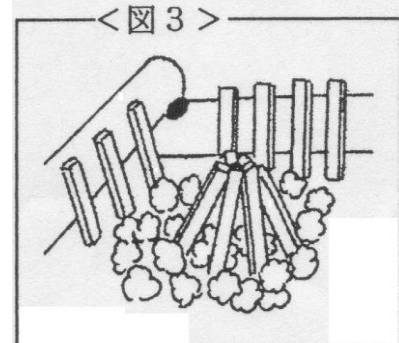
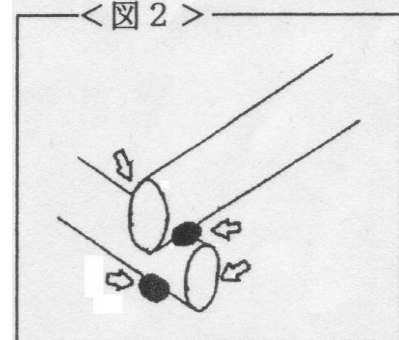
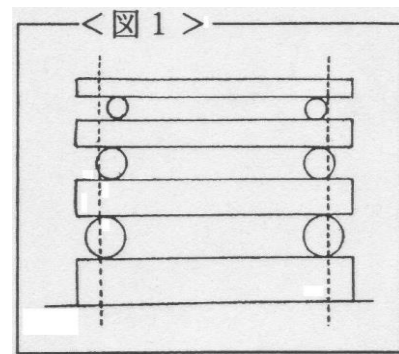
(1) ファイヤー終了時または21時頃から、残り火の中に残っている丸太や薪を燃やせるだけ燃やして下さい。(灯油使用可)

(2) 22時頃までに火が小さくなるか、またはくすぶる程度にして鉄蓋(ファイヤーベース)をかけます。(図5)

(3) 22時頃に当直者が確認で見回りますので、それまでに延焼のないように必ず待機して下さい。22時以前に②までできましたら、事務室までお越し下さい。確認にまいります。

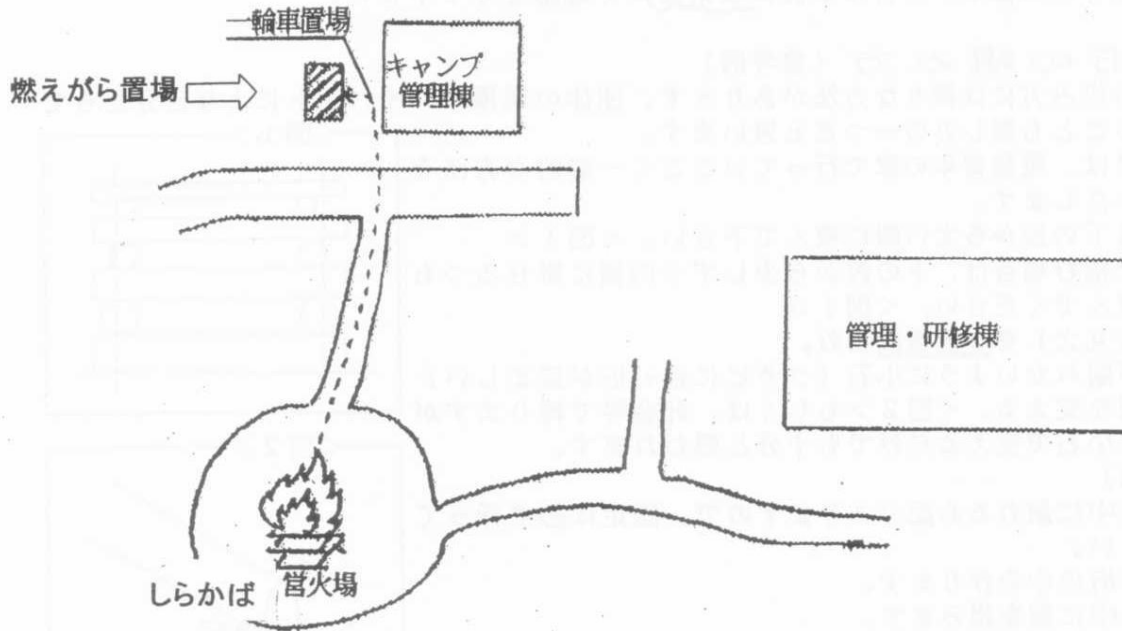
(4) 当直者による確認終了後、翌朝までそのまま燃やし続けます。

(5) 翌朝、ファイヤーベースを外し、一輪車を使用し、燃えがらを指定された回収場に運び、後かたづけをお願いします。

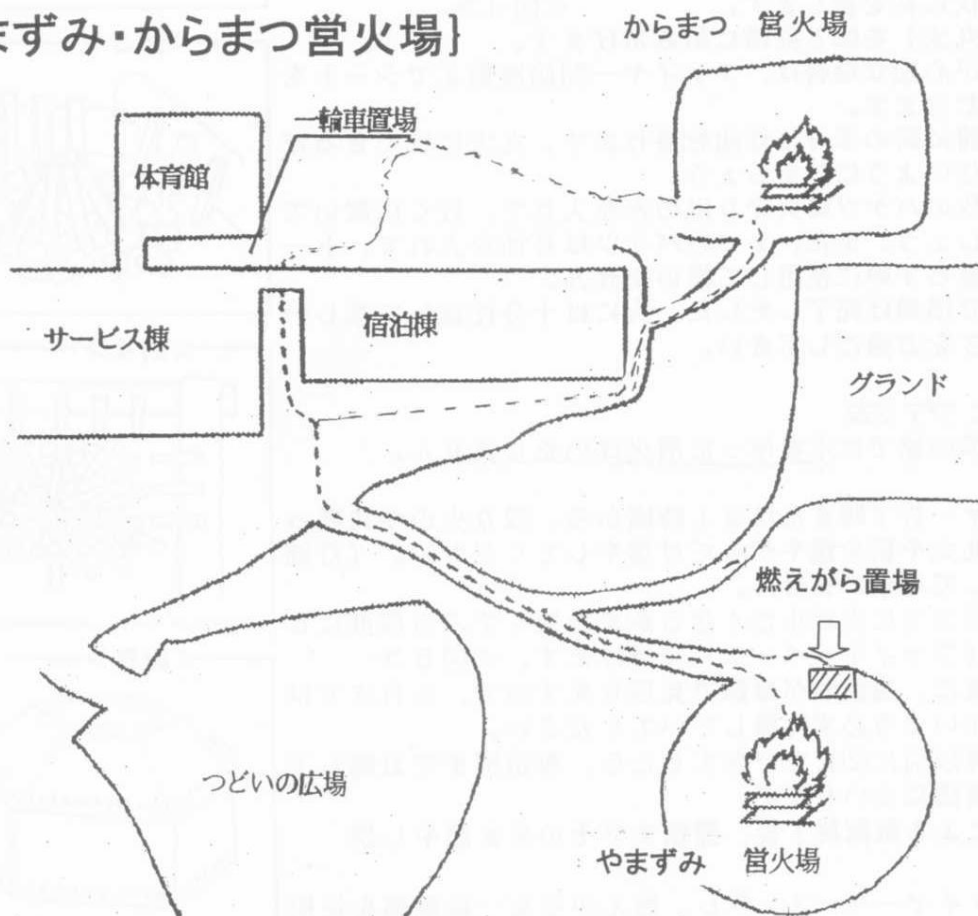


<<燃えがら回収場所>>

[しらかば営火場]



[やまずみ・からまつ営火場]



キャンプファイヤーの運営とプログラム例

1. 運営 必要に応じ係を作る。キャンドルの集いにも対応できるとよい。

進行役 司会者

営火長 団体の長

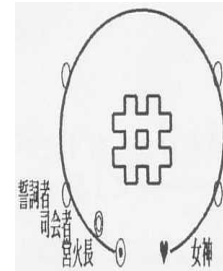
女神

誓詞者 若干名 営火長から火をもらい、誓いの言葉を述べる

営火係 5～6名は必要、井桁の準備、火の管理・片付け

音楽係 放送係

その他



プログラム例 3部構成「迎火・交歓・送火」(静・動・静)

時間	順序	展開	留意点
第一部	集合 会場への入場 開会の言葉 歌 女神・営火長の入場 誓いの言葉 点火 歌 営火長の言葉 歌 一部終了の言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・営火長以外の場所に集合(係は所定の場所に) ・司会者の合図 ・司会者による ・「遠き山に日は落ちて」ハミングに合わせて、女神は営火長を従えトーチを持ち入場 ・誓詞者は営火長の前へ。営火長から火をもらい、順番に誓いの言葉を述べる。 ・点火の合図で誓詞者が井桁に点火する。 ・「燃えろよ燃えろ」 ・火にちなんだ話 ・対象者に合った歌 ・司会者から 	<ul style="list-style-type: none"> ・誘導路にかがり火(空き缶)などで工夫 ・隊形の工夫 ・1番歌詞, 2番ハミング ・定位置についたら、女神は営火長にトーチを渡す。 ・営火長の前に横列に並び、片膝をついた姿勢をとる。言葉と火を受けた誓詞者は、立ってトーチを高く上げ、はっきりと言う。 ・姿勢は片膝をついて行う。 ・校歌, 社歌, 愛唱歌「若者たち」「四季の歌」など ・営火長はトーチを所定の位置へ置き、火を消す。(ぬらした新聞紙にはさむ)
第二部	交歓の集い30分～	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲーム ・ダンス ・スタンツ ・フォークダンス 	<ul style="list-style-type: none"> ・第一部の緊張から解放し、和やかな雰囲気をかもしだすようなゲーム・歌で導入をはかる。 ・出し物は、決められた時間を守る。
第三部	トーチ配布 歌・分火 営火長の言葉 歌 参加者代表の言葉 黙想 歌・退場	<ul style="list-style-type: none"> ・一部と同じ隊形を作り、全員にトーチを配る。 ・女神は井桁から彩火し、営火長に渡す。 ・「ふるさと」を歌いながら分火 ・むすびの言葉 ・「一日の終わり」 ・参加者代表, 又は司会者により感想発表 ・全員で、家族や日々の生活について思いを巡らす。 ・「今日の日はさよなら」に合わせて退場する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人数・対象によりトーチの配布は全員でなくてもよい。 ・誓詞者は、営火長の前に集まり分火してもらい。その後分かれて列に入り、左右の人に分火。以下リレー式に分火。 ・分火をしない場合は、女神がトーチを持ち営火長を従えてみんなの前を通り退場。 ・思い出や感想, 又は作文・詩の朗読でもよい。 ・黙想の間に詩の朗読もよい。

キャンプファイヤープログラム展開例

項目	係	内容	留意点
事前準備完了	レク	参加者を円陣隊形にする。 火の長・火の神・火の守・司会は所定の位置につく。	・参加者が入場するときBGM（静かな曲）
キャンプファイヤーについての意義など説明	司会	キャンドルの意義，役割説明，流れの説明，諸注意	
第1部 迎火の儀	司会	井桁を囲んだきれいな円隊形で	女神はトーチに火をつけて待つ 他に「夕焼け小焼け」「一日の終わり」など静かな歌
消灯	↓ 電気係	完全に消灯	
開会宣言	司会	『ただいまより，〇〇学校の〇〇研修による友情と親睦の輪を広げる「乗鞍の森キャンプファイヤー」の集いを始めます』	
歌	司会 ↓ 全員	「遠き山に日は落ちて」をみなさんと共に歌いながら，火の長・火の女神をこの聖なる乗鞍の森よりお迎えしたいと思います。1番は歌，2番からハミングでお願いします。」	
火の長 火の女神入場		歌からハミングに移ったら入場を始める。 トーチを持った女神は火の長を誘導しながら場内円陣の中を一周する。	
分火及び 誓いの言葉	司会	『ここにお迎えした聖なる火を（ ）人の代表者に分火いたします。』火の司によって合図が告げられたら，（ ）人の火の守は，長の前に整列し自分のトーチに女神から火を分火してもらい誓いを述べる。	
	司会	「第1の火」 第1の火を受ける火の守は，火の長の前に進み一礼をする。	
	火の長	『友情のために，この火を与えます』火の女神は，火の守のトーチに点火します。	
	火の守	『私たちは，お互いの友情を深め，人を愛する素直な人間になることを誓います。』	
	火の守	（第1の火を受けた火の守が元の位置にもどってから）以下同様	
	司会	『第2の火』	
	火の長	『自由と責任のためにこの火を与えます。』	
	火の守	『私たちは，自由を尊び，責任感のある人間になるよう努力することを誓います。』	

項目	係	内容	留意点
火の守移動 点火宣言 点火 歌 火の長挨拶 歌	司会 火の長	『第3の火』 『自主と独立のためにこの火を与えます。』	火の守は誓いの言葉が終わったら、司の合図によりそれぞれ上図の所定の位置に進む。井桁の2mくらい手前で胸の前にトーチを構え点火の合図を待つ。
	火の守 司会 火の長	『私たちは強い心と身体をつくり、自立の精神を体得することを誓います。』 『第4の火』 『未来を見つめる平和のために、この火を与えます。』	
	火の守	『私たちは未来を見つめ、平和を守るよう努力することを誓います。』 クラスが5～10クラスの場合は、以下第5第6と要領に従って行う。	
	司会	『今（ ）人の代表者のみなさんに誓いの言葉をのべていただきました。この聖なる火を中央の井桁に点火していただきます。』	
	司会	『点火して下さい。』	
	守	火の守は点火し、トーチは井桁の間に入れて置き、元の位置にもどる。中央へ移動するとき、火の守は同時に動く。	
	司会	神聖なる火が点火されました。火の盛り上がりに合わせて、みんなで「燃えろよ燃えろ」を元気に歌いましょう。	
	司会	『今、代表者によってファイヤーが点火され、火は赤々と燃え、明るい光をはなっています。（間をあげる。）それでは、火の長よりお言葉をいただきます。』	
	火の長	『美しい北アルプスの山々が夕日にそまり、夜のとばりが静かにおりていこうとしています。人類は太古の昔より水と土はたやすく手に入れることができたが、火の入手は非常に困難なものがありました。故に人類の歴史は火の歴史といっても過言ではないと思います。今、この乗鞍青少年交流の家に聖なる友情の火がともされました。今宵このともしびを囲んで自己を見つめ、友情と団結を確かめ、たゆむことなく前進し、一人一人の心の奥深くいつまでも燃えさかり、永遠の思い出となることを祈ります。』	
	司会 ↓ 全員 照明	火の長が挨拶を終えたら、トーチを持ったまま自分の席にもどる。 『みなさんと一緒に「ふるさと」の歌を歌いましょう。』 「若者たち」「友よ」「こぶたぬきつねこ」「山賊の歌」など。 外灯を点ける。	

項目	係	内容	留意点
第2部 交歓の集い	司会	全員，席に座るように指示する。 全員がよく知っている楽しい歌（「幸せ作ろう」「ハレルヤ」などのレクソング） 全員で楽しめるゲームなどを行って，なごやかな雰囲気を創ってから『交歓の集い』に入る。	
ゲーム		全員で行えるもの，道具をあまり必要としないもの（ジャンケンゲーム，シンキングゲーム，ハンドゲームなど）	
クラス別出し物		準備を含め5～7分程度 出し物の間に簡単な歌やゲームを入れる。	
フォークダンス		「ミザルー」「幸せなら手をたたこう」 「ジェンカ」等フォークダンス，レクリエーションダンス	
第3部への移行	司会	『楽しかった交歓の集いも終わり，いよいよこの神聖な火を乗鞍の森へお返しする時間が近づいてきました。 みなさん，もう一度中央の炎に注目してください。蛍光灯や電球の光を見慣れている私たちですが，よくみると本当にきれいですね。この美しい炎の中に，これまで生きてきた自分の歩みを写し出してみてください。さまざまな思いがよみがえってくることでしょう。	・静かな歌 ・その他「楽しい集い」「四季の歌」なども適している。
詩の朗読	詩の係	詩を朗読する。	ゆっくり気持ちをこめて。 雰囲気のよいBGM
火の女神 火の長退場	司会 ↓ 全員	1分ほど沈黙の時をつくり，余韻を残す。 『赤々と燃えさかった意義ある火が，今皆さん一人ひとりの胸の中にしまわれました。小さな光であっても，どんどん大きな光となり人々の心の中に限りない安らぎと暖かい思いの光を投げかけてくれました。私たちの持つ心のともしびは，お互いを暖めあい，照らしあい，そしてそれが広く世の人々に心の中に入って，どんなにか人々を明るく楽しくすることでしょうか。今日のこの火は消えましたが，みんなが暖かく消えることのない心のともしびを，いつまでもいつまでもともし続けてください。』（間をおく） 『皆さんとともに楽しく過ごしてきましたこのつどいも，今終わろうとしています。「今日の日はずさようなら」を歌って，明るく照らしてくれたこの炎をまた乗鞍のふところにもどしたいと思います。』2番からはハミングで繰り返してください。	「シャロム」「閉会の歌」などの曲
感想交流	司会	キャンプファイヤーの感想や今後の抱負を語る。	女神のトーチに再点火しておく。火の女神は火の長を先導しながら場内を一周して退場する。
閉会宣言	司会	火の守や参加者が語ってもよい。 『では，以上を持ちまして乗鞍の森キャンプファイヤーを終わります。』	事前に発表者を指名しておく。
点灯	電気係	20～30秒くらいたってから点灯	ざわめきが出はじめた頃，点灯する。